



よさこい祭り

学
 学校法人高知学園
 高知リハビリテーション学院
院
報

学院報第28号

| |
|--|
| 学校法人 高知学園 高知リハビリテーション学院 |
| 平成30年 9月10日発行 |
| 発行 |
| 学院報編集委員会 |
| 〒781-1102 高知県土佐市高岡町乙1139-3 Tel 088-850-2311 Fax 088-850-2323 http://www.kochi-reha.ac.jp/ E-mail:kochi-reha@kochireha.ac.jp |



これからのリハビリテーション
 学院への抱負⑩

学院長 大倉 三洋

平成三十年度は、高知リハビリテーション学院として最後の入学生となる(予定)理学療法学科五十一期生(六十六名)、作業療法学科二十六期生(三十三名)、言語療法学科二十二期生(十九名)を新たに迎え学生総数五百十九名でスタートいたしました。そして前期定期試験も終了し、一年生は今年も猛暑の中八月十・十一日のよさこい祭り、また土佐市の大綱祭りに参加をし、この祭りを通して学生間の絆や地域との交流を深めることができましたと思います。

高知リハビリテーション学院は、今年で創立五十周年を迎えました。昭和四十三年四月に日本で最初の私立の理学療法士の養成施設として開校いたしました。当初は短大の一学科として開学する予定でしたが、理学療法士に関する設置基準が当時の文部省にはできていなかったことから、専門学校として開校した経緯がございます。

そして昭和五十年には三年間では十分な教育ができないこともあり、アメリカやイギリスといった先進諸国の養成課程に合わせ、より高度で実践力のあるセラピストの養成を目的に修業年限を三年制から四年制度に変更し、日本で最初の四年制の専門学校として認可を受けました。また昭和六十二年には卒業生の大学院への門戸を開く目的で佛教大学の通信教育部と教育提携を結び、学士の学位を

有するセラピストの養成に取り組んでまいりました。この様に、私どもの高知リハビリテーション学院は、全国の養成校のリーダー的な役割を果たすとともに、開設当初より大学教育、学部教育を目指して努力を続けてまいりました。

昨年五月二十四日の参議院本会議で、平成三十一年四月に専門職大学、専門職短期大学という新しい高等教育機関(大学)がスタートすることが決まりました。この専門職大学の制度は、高知リハビリテーション学院にとっては既存の大学制度と比べ、考え方やコンセプトが非常に似ており、これまで積み重ねてきた本院の実績が活かせるものと考え、平成二十九年十一月三十日に専門職大学の一期校を目指し認可申請をいたしました。そして平成三十年一月三十日に大学設置分科会の面接審査、二月二十一日には学校法人分科会の面接審査をそれぞれ文部科学省で受けました。また平成三十年六月二十日に学校法人分科会の現地審査、七月二十七日には大学設置分科会の現地審査を受けました。そして八月十日に再補正申請書の提出も終わり認可申請も最終段階に来ております。今までの経過から私は専門職大学として認可されると確信をしておりますが、最後まで全力で頑張りたいと思っております。皆様方のご支援よろしくお願いいたします。

有するセラピストの養成に取り組んでまいりました。この様に、私どもの高知リハビリテーション学院は、全国の養成校のリーダー的な役割を果たすとともに、開設当初より大学教育、学部教育を目指して努力を続けてまいりました。

よきこい祭りを終えて

言語療法学科一年

尾崎 瑠花

私は今回が始めてのよきこい祭りでした。お祭りには何度も行ったことがあり、見ていていつも「私も踊ってみたいな」と思っていたことが実現できて嬉しかったです。私は委員にも参加して積極的に取り組みました。みんなに踊りを教えるの思っていたよりも難しく、大変なこともありましたが、上手くできた時は達成感がありました。他の学科のみんなとも仲良くなることができ、友達が増えて嬉しかったです。このように色々な体験ができたことは一緒に踊ったみんな、そしてサポートしてくれた先生方、みんな協力し合っただけで最高に楽しい夏となりました。よきこい祭りを通して、全体的に仲を深めることができ、一つの経験として活かしていけると思います。このような経験をできたことに感謝でいっぱいです。



レクリエーション大会を終えて

理学療法学科二年

勝賀瀬 真友

今年度のレクリエーション大会の委員長を務めさせていただきました。レク委員長をするのはとても不安でしたが周りの先輩、同級生、後輩などが支えてくれたので楽しくレクリエーション大会を進めることができました。入学して間もない一年生も自ら進んで行動してくれてとても良かったです。二年生、三年生、四年生も前年までの経験を活かし、各競技クラスで協力し白熱した試合ができ、各学科、各学年、スポーツを通じて良い交流ができていたと思います。レク委員長で大変な事が沢山あり迷惑もかけましたが、他学科、他学年または先生方にとっても助けられました。自分一人の力では決して成功できなかったことなので本当に感謝しています。本当にありがとうございました。

学院祭ご案内

学院祭実行委員長 作業療法学科3年 竹中 梨緒

夏の暑さも終わり、涼しくなり今年も学院祭の季節がやってきました。本年度は10月の7日、8日に学院祭を開催いたします。今年の学院祭は例年とは一味違い、屋台では、流し売り、くじ引きをするクラスがあるなどお祭り感を前面に出した学院祭となっています。その他にも、焼きそばや焼き鳥、フランクフルト、ワッフルなど多くの種類があります。また、外部からも屋台での販売に参加していただけたと思います。伝統となっているオープニングの餅投げや、豪華商品のビンゴ大会、各クラスが一致団結して行うクラス自慢など地域の皆さんが楽しめる企画は変えずに、学校内だけではなく、地域の皆様と共に盛り上げていく学院祭を目標としています。屋台だけではなく、クラス対抗となり競うアームレスリングやイントロドン、コーラ早飲み、クラス自慢など様々なイベントもあり、白熱した戦いをお楽しみいただけます。

学校全体で良い学祭を作り上げていくので、ぜひ皆様お誘いあわせの上ご来場されますことを心よりお待ちしております。

大綱祭りを終えて

理学療法学科1年 弘瀬 七海



土佐市の人と人との関わりが温かいと思った大綱祭り。地域のダンスグループの演舞、バス引き、大綱引きなど沢山の催し物があった。最後の大綱引きは、沢山のチームが参加していて、活気に溢れていた。初めて参加した大綱祭りで高知リハとしてよきこいに参加することができ、また一つの思い出が増えた。土佐市の人の良さ、仲の良さに気づき土佐市が好きだと思った。来年は、観客側としてお祭りに参加したいと思う。力に自信のある人は是非バス引き、大綱引きに参加して欲しい。

クラブ紹介

【バドミントン部】

部長 作業療法学科三年 谷脇 里穂

バドミントン部には、現在十三名の部員が所属しており、週に一回活動をしています。バドミントン部最大の特徴は、部員十三名中十一名が未経験者です。そのため、活動を通して何よりバドミントンを楽しむことを目標としています。

個性の強い部員が多く、学科、学年、性別を問わず全員が仲良しです。活動が終了してから全員でご飯を食べに行ったり、休日にはボーリングなど、とにかく楽しい事が大好きな部です。笑顔が耐えず、部員に恵まれた部だと私は心から思っています。

少しでも興味がある人、体を動かしたい人、気分転換に、レクリエーション大会の練習など、どんな些細な理由でも大丈夫です。ぜひ、三十分程度の見学だけでも来てみてください。



【フットサル部】

作業療法学科二年 竹崎 紘史

フットサル部には一年生から四年生まで十七名の部員が所属しています。練習は毎週火曜日の十八時から二十時まで行っており、いつも楽しい雰囲気で行っています。部員も個性的で優しい方ばかりで笑顔が絶えることはありません。

試合での結果は満足とは言えませんが、少しずつ試合に勝てるようになってきています。皆で協力し一致団結して勝利を目指することに、とてもやりがいを感じています。

また、いつも沢山の方々が応援してくださり、とても励みとなっています。本当にありがとございます。フットサル・サッカーに興味のある方、初心者の方、どんな方でも大歓迎ですので、一緒にフットサルを楽しみましょう。マネージャーの方も大歓迎です。今後とも応援の程、どうぞよろしくお願いたします。



学生生活について

言語療法学科二年

窪添 友香

高知リハビリテーション学院に入学してから一年半の月日が経ちました。入学した当初は勉強面や友人関係などに不安を感じていました。授業の内容が今までと違い戸惑うこともありましたが、先生方の丁寧な指導のおかげで、勉強についての不安は少しずつ薄れていきました。また、レクリエーション大会やよさこいなどを通して、クラスメイトや先輩との交流をすることにより人との輪が広が

作業療法学科二年

前島 春香

一年生入学した当時は、様々なタイプの人に関して、自分は本当にここであったのかなと不安と期待が入り混じったスタートでした。しかし、よさこいや学院祭などを経て、大変なこともありましたが、それよりもみんなで作りに上げることの楽しさや、絆が芽生え、最初の不安など忘れるほど、楽しいものになっていきました。

二年生になり、一番初めのレク大会も、去

理学療法学科二年

山本 勢

入学当時、二十歳の私は専門分野の勉強に励む事が出来る嬉しさ、クラスに馴染めるだろうかと少しの不安を抱いていました。あれから一年半。今の私は自信を持って言いたい。高知リハに入学してよかったと。素晴らしいクラスメイト、他学年との良好な繋がり、指導熱心な先生方による創意工夫の

なされた深みのある授業、充実した設備、そしてよさこい祭り、学院祭、レクリエーション大会等の盛んな学校行事。沢山のものに恵まれ、私はこの一年半、本当に充実した一日

り、自分の苦手であった人とコミュニケーションをとることが少しずつ得意になっていきました。二年生になると、実技や専門科目が増え一年生のころと比べると、授業内容が難しくなる半面やりがいを感じることも多くなりました。特に二年生から始まった実技の授業はやりがいを感じます。今後授業の内容が徐々に難しくなっていくと思いますが、国家試験の合格に向けて、クラスみんなで協力しながら楽しく充実した学校生活を送っていききたいと思っています。

年とは違い、クラスの団結も高まってバドミントンでは優勝するなど、とても楽しいものになりました。勉強面では、専門的な教料が増え、勉強に対する意欲が高まりました。先輩が勉強の仕方を教えてくれたり、後輩ができ勉強と一緒にしたりと、友達だけでなく上下の繋がりも広がっていきました。

これから実習なども始まっていき、実際の医療現場で勉強することに不安はありますが、楽しみでもあります。大変なときは、先生方や友達を頼り乗り越えていきたいと思

一日を過ごすことが出来ました。これから始まる二年生の夏休みにはいよいよ見学実習が始まります。実際の医療の現場を見学することで、自分の技術や知識の再確認や、将来の理想像を固めることができると思っています。積極的に貧欲に励みたいのです。また、全国各地の実習先の病院に高知リハの先輩方が大勢いらっしゃることは大変心強く、高知リハの良さとして誇れると思います。日々を過ごしていく中で、自分の知識が蓄えられていく感覚をここ高知リハなら強く感じることが出来ます。これからも時間を無駄にせず、立派な理学療法士になるため、日々勉強に励んでいきたいと思

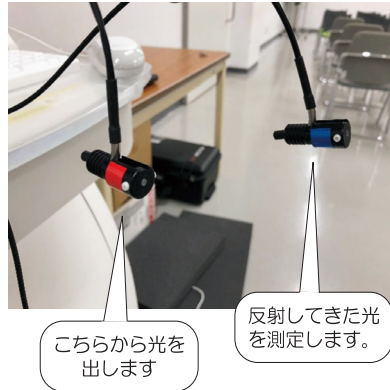
光トポグラフィ装置

言語療法学科教員 池 聡

光トポグラフィ装置とは、簡単に言うと、脳の活動状況を目で見えるようにする装置です。脳は部位によってそれぞれの役割が決まっています。脳が活発に活動するときは、活発に活動していないときに比べて、多くの血液が血管に流れます。血液は赤い光を多く吸収します（血液が赤いのはこのためです。）。吸収された光は反射して返ってこなくなるので、光量の変化を測定して、脳のどの部分がいま、活発に動いているかを測定することができます。

同じような機能を有する装置として、fMRIという装置があります。識別できる能力は、fMRIの方が高いですが、測定終了までずっと同じような姿勢でいる必要があります。光トポグラフィ装置には、姿勢の制限は無く比較的自由に測定することが可能な点が長所です。

この装置はあなたの脳が良いかどうかではなく、安静な状態からどの部分に変化があるかをみます。この活動をする時は、どの部分が働いているかをみるための装置です。



))) 教 員 紹 介 (((



言語療法学科
土居 奈央

母校である本学の教員となり、様々な科目を担当させて頂きました。入職当初から、主に「聴覚障害」の分野を担当する

ことが多く、また、今年度からは大学院の研究テーマでもあった「嚥下障害」の講義も担当させて頂きました。また、国家試験対策にも積極的に関わらせて頂いています。言語療法学科の四年次生は十四週間に渡る臨床実習を終え、九月から受験シーズンに突入しま

す。一年次からの集大成とはいえ、三年前に学習したことを思い出し理解を深める作業は精神的にも身体的にもそう簡単ではありません。努力の成果が報われる様、学校で全力でお手伝いさせて頂きます。



作業療法学科
笹村 聡

高知リハビリテーション学院作業療法学科の教員となり、六年目を迎えました。授業では主に身

体障害分野を担当しています。身体障害評価学、評価手技、治療学といった基本の理解から実技実践を学んでいく上で、「先生分からーん！」と学生もなかなか苦労をしています。しかし、講義や演習を通じ、それぞれの意見が増えたり、知るよし

もなかった検査手技を身につけたりと、成長していく様子に頼もしさを覚えます。私も今年度はお声がけをいただき、高知県立大学社会福祉学部との共同研究に携わっています。学生の頑張りを糧に、私も新たに様々な事に挑戦を続けて参ります。



理学療法学科
高野 康夫

私は本学院に赴任して三年目になります。現在、本学院は来春に向け専門職大学として旗揚げしようとしています。私はこれまで高知医科大学を初めとして、また高知リハビリテーション学院を

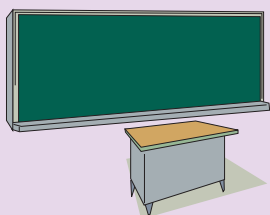
含めて新設大学の立ち上げに三校も関与するという機会を得たことに驚きと感謝を禁じ得ません。このような希有な体験を活かし、また本学の伝統に沿ってこれからの教育・研究に邁進し、貢献したいと考えています。またこれまでの体験として深く思い出に残っているのは、高知医科大学在職中における南フロリダ大学（アメリカ）医

学部内科学教室および病理学教室にDr. CoieおよびDr. Batis教授のもと客員教授として二年間の国外研修の機会を得たことです。異文化に接するの国の文化・習慣に接することは自身のこれまでの視点や概念を大きく変えます。若い学生諸君も積極的に国内外に出て行って、自分の将来を切り開いて、夢の実現に向かって歩んで下さい。

国家試験対策

国家試験対策室室長 重島 晃史

国家試験対策室室長の重島と申します。国家試験対策室（以下、国試室）が立ち上がって今年度で四年目になります。この三年間で国試室の運営も少しずつですが軌道に乗ってきました。平成二十九年度は外部より講師を迎え国試対策ポイント講座を開催し、学習のスケジュール設定や具体的な学習法などを講演していただきました。そのような経過を経て、平成三十年国家試験の結果（新卒）は理学療法学科八九・一％、作業療法学科八一・三％、言語療法学科八二・七％で、すべての学科で全国平均（理学療法士八一・四％、作業療法士七七・六％、言語聴覚士七九・三％）を上回る結果となりました。特に言語療法学科ではここ数年で最も高い合格率となりました。その要因としては個々の学生への学習対応や模試の成績等に応じたグループ学習の臨機応変な対応、学科教員による学習しやすい資料の作成などの対策が功を奏したと考えられます。しかし、全国状況を俯瞰してみると対策の余地があることは否めません。今後より高い合格率を目指し国試対策を進めていきますので、ご指導ご鞭撻の程お願い致します。



全国で活躍する卒業生シリーズ ⑦

作業療法士の役割

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
 作業療法学科八期生 服部 和代



私が勤める高知医療センターは、病床数六百六十床、県下の三次救急を担う病院のひとつです。患者さんは、救急車、もしくはヘリコプターで県下全域から運ばれてきます。救命救急の治療はスピード勝負！ヘリでは室戸から二十分、足摺からは三十分で到着です。こうして、日常から切り離された急性期病院での生活が突然始まります。目が覚めると、見知らぬ天井、聴きなれない機械音、白衣を着た医療従事者と無機質な医療機器に囲まれ、何が起きているのかわからない状態の中、リハビリが始まるのです。

そこでの作業療法士の役割は、身体機能評価、高次脳機能評価、日常生活動作能力の評価、訓練はもちろんのこと、一番重要な役割は、なるべく早く「患者さん自身の」生活の感覚を取り戻してもらうことです。動きにくくなった体が治っていく過程にも患者さんの生活は続きます。そして、その方がすぐに元の生活に戻れるか、もしくは病气やけがを引きずって、元の生活をイメージすることすら難しくなるか、それは周りのスタッフの働きかけにかかっています。当院の平均在院日数は十日余り、病院としての命題は患者さんの日常生活動作能力をできるだけ落とさずに、そして一日も早く元の生活に戻す、もしくは次のステージに送ることです。

当院を退院後、自宅に帰る、またはリハビリを目的に転院することになって、支援の時に考えることは、その方が最終的に帰る場所とその場所での生活のことです。主婦として一家の家事全般を担う、九十歳になっても現役の農家を続けたい、ご飯が食べられたら元の施設に帰れる、趣味の釣りをやりたいなど、その人らしい生活を取り戻すリハビリが作業療法です。

私はこれまで慢性期・終末期の病院、訪問リハビリテーション、回復期リハビリテーション病院で勤務してきました。どこにいてもその人なりの生活を取り戻す過程を支えるという視点は変わりないものと感じています。

それぞれの生活スタイルを理解して評価する、支援するには様々な知識と経験が必要になります。

学生の皆さんには、勉強はもちろん大切ですが、プライベートの時間も充実させて欲しいと思います。仲間と思いつきり遊んで、いろんなアルバイトをして、今しかできない経験をたくさんしてください。それらの経験が患者さんを支援する時には、必ず自分の武器になって返ってきます。セラピストになったら、臨床の場で一緒に勉強しながら頑張りたい。

大学化への取組み状況

当学院を母体にして、昨年5月の学校教育法の改正により創設された専門職大学制度に沿った大学化を目指し、設置認可申請中です。大学教育として、リハビリ専門職の養成を行っていくものでして、名称は「高知リハビリテーション専門職大学」とし、リハビリテーション学部リハビリテーション学科の一学部一学科のもとに理学、作業、言語の3つの専攻を置く構成です。養成分野や収容定員は、これまでと同様のものであります。

この6月と7月には2回にわたり、文部科学省の所管審議会による現地審査も受けました。当大学制度のもとで、初めてとなる認可の判定は、秋までには行われるものと受け止めています。来年の4月の開学を目指しており、四国では初の専門職大学となります。

高知リハビリテーション専門職大学(仮称) オープンキャンパス(7月22日(日))の様様

理学



作業



言語



◆◆◆ 平成30年度後期行事予定 ◆◆◆

- 9月18日(火) 後期授業開始
- 9月29日(土) 就職合同説明会
- 10月7日(日)・8日(祝・月) 学院祭
- 11月26日(月)～12月3日(月) 3年生後期定期試験
- 12月22日(土)～1月7日(月) 冬期休業
- 1月23日(水) 学園記念日(休講)
- 2月4日(月)～2月12日(火) 1・2年生後期定期試験
- 3月3日(日) 卒業式
- 3月21日(祝・木) 春期休業入り

